

- 立科小学校/午前9時～午前11時30分
電話 56-3131 (呼)・有線2190 (呼)
- 立科中学校/午後2時～午後5時
電話 56-1076 (呼)・有線2251 (呼)
- 立科町児童館/
午前 11時40分～午後1時30分
電話 56-0303 (直通)
有線 8889 (直通)

※予約をされる方は児童館または小・中学校の
教頭先生へご連絡をお願いします。

子どもたちが若木のように すくすくと育つ「未」の年に

立科町教育相談員 岩上起美男

謹賀新年

本年もよろしく
お願い申し上げます



「漢字を創った人」は、つくづく凄
と思います。音(読み方)と意味、二つ
の文字機能をもつ漢字の考案は、まさに
神懸かり的な発想であり、発明と思われ
るからです。そして、日本人にとって、
漢字の伝来以後、その恩恵には計り知れ
ないものがあるからです。

このような漢字の字源(起源)につい
て、福井県教育委員会が編集し、発行し
た「白川静先生の漢字の世界へ」(平凡
社発売)は、以下のように述べています。

漢字は、今から約三千三百年以上前、
中国で生まれた。
最初の漢字は「甲 甲骨文字」
「骨文字」で、亀の
甲羅や牛・鹿の肩
胛骨に刻みつけら
れた文字である。
同じ時代の、漢字
を青銅器に鑄込ん
だ「金文」も残さ
れている。



西暦1000年(後漢時代)、中国の儒
学者、許慎が、主として、秦(紀元前2

21年)紀元前206年)の時代に統一
された「篆文」をもとに、漢字の成り立
ちを書いた字書「説文解字」を完成させ
た。(その後、42巻からなる「康熙字典」
(西暦1716年)をはじめ、数多くの
漢字字典が著されたが、「説文解字」は、
字源を説明するうえで極めて有力な字説
として、二千年に近い永きにわたって崇
敬されてきた。)

許慎は、漢字の成り立ちを、「象形」
「指事」「会意」「形声」「転注」「仮借」
の六通りに分類し、これを「六書」と呼
んだ。「六書」は、今日の小・中学校の
漢字学習にも位置づけられている。)

漢文学者、白川静博士(1910～2
006)が、許慎が見ることのできな
かった、漢字の最初の形である「甲骨文
字」や「金文」を研究し、「説文解字」
を超える新しい漢字の成り立ちの体系を
打ち立てた。

白川博士は、古代中国では、王が神を
祭り、神と交信するために漢字が生まれ
たと考えた。そのポイントとなるのが、
「口」の発見である。「告」や「語」、
「石」など、「口」を含む多くの漢字で、
「口」は「口」の意味ではなく、「口」の
意味(人が神様に願う事をするために書
いた祝詞を入れる器)で使われていると
いう発見である。

白川博士が、漢字の元々の意味を読み

解いて、「字統」(字源事典)及び「字
訓」(古語辞典)、「字通」(漢和辞典)の
字書三部作(平凡社)を著し、古代人の
生活や考え方を現代に生き生きとよみが
えらせた。

白川博士は、自らのモットー「すでに
志があるならば、ことは果敢に行うべ
きである。」を粘り強く、たゆまず実践
した功績によって、88歳のとき、文化功
労者として表彰され、94歳のときに文化
勲章を受章した。



字源とは別に、漢字の中に、現代にも
通ずる教訓や知恵、物事の本源的な意味
が含まれているのを感じ、ハッとさせら
れることがあります。

もう何年も前になりますが、テレビの
人気番組「3年B組金八先生」シリーズ
で、武田鉄矢扮する金八先生が、黒板に
チョークで「人」と大書し、生徒に熱く
語りかけるシーンがありました。

「いいですか、生徒の皆さん、『人』と
いう漢字は、このように人と人が支え合
い、助け合う形です。人は、決して一人
一人バラバラに生きていてのではないの